

令和5年2月13日
福島県農村振興課

「ふくしまの棚田」フェアを開催します

1 概要

農産物の供給にとどまらず、国土の保全、良好な景観の形成など多面的機能を有する棚田の保全とともに、棚田地域の振興を図るため、棚田を核とした観光や都市農村交流等に取り組む県内4棚田地域が、それぞれの取組を発信し、農産物の販売等を行うフェアを開催します。

2 日時

令和5年2月18日（土）、19日（日） 9:30～17:30

3 場所

福島県観光物産館入口イベントスペース

（住所：福島県福島市三河南町1-20 コラッセふくしま 1F）

4 内容

棚田関連のパネル展示や棚田で生産された農産物の販売等

5 参加棚田の概要及び販売予定商品

- ・^{とうわ めのさわ}東和の布沢棚田（二本松市） [「つなぐ棚田遺産」選定]

【概要】「天女舞う棚田の里」として、天女が舞い降りて傷を癒やしたという民話が残る地域の歴史・文化を継承し、棚田の保全、景観整備を行い、農業体験イベント等での都市農村交流による関係人口の創出・拡大や、純米酒、しめ縄等の加工品の販売に取り組んでいます。

【販売予定商品】棚田米コシヒカリ、布沢純米酒、天空納豆、杵つき餅（豆餅、よもぎ餅、きび餅）

- ・^{たてにしちく}館西地区の棚田（郡山市）

【概要】今後、遊休化した棚田を活用したオーナー制度の創設や、棚田で生産された農産物を使った6次化商品の開発等が計画しています。

【販売予定商品】館西棚田米

- ・^{うわぜき}上堰棚田（喜多方市） [「つなぐ棚田遺産」選定]

【概要】地域を流れる水路の「堰さらいボランティア活動」を中心とし、棚田オーナー制の実施及び棚田米や棚田米を使った日本酒のブランド化に向けた取組など、地域住民の生産意欲の向上、農村関係人口の拡大に繋がる活動を行っています。

【販売予定商品】上堰米コシヒカリ、雪下ミニ大根、ミニ凶鑑（本木・早稲谷の昆虫）、上堰の奇跡

- ・こづちやま棚田（喜多方市）

【概要】富士山（標高508.8m）のふもとから流れる伏流水で生産された棚田米やエゴマ等を使用した6次化商品の開発・販売に取り組んでいます。

【販売予定商品】美米（うまい）、えごま油、えごまパウダー、ザーサイ、ザーサイスライス

【問い合わせ先】

農林水産部 農村振興課 副課長兼主任主査 木村 善明
電話 024-521-7380(県庁内線 3368)

棚田 **押し活** 始めませんか？

#ふくしまの

棚田フェア

県内4つの棚田の農産物や6次化商品を販売します



秘境度 ♥♥♥♥♥

喜多方市
上堰棚田



秘境度 ♥♥♥♥♥

喜多方市
こづちやま棚田



秘境度 ♥♥♥♥♥

郡山市
館西地区の棚田



秘境度 ♥♥♥♥♥

二本松市
東和の布沢棚田

2023年2月18日 **土** - 19日 **日**

なぜ、棚田を推すのか

棚田は、米などを作ることに加え、土砂崩れを防ぐ、川の流れを安定させ、きれいな地下水をつくる、生きもののすみかや美しい風景、伝統文化を守る、といったいろいろな働き(機能)を持っています。その機能を維持・発展させるためには、みなさんからの応援が必要です。

9:30 - 17:30

会場 コラッセふくしま
観光物産館イベントスペース
主催 福島県農村振興課